

平 27.10.23
総 24 - 2

説 明 資 料

〔所得税 ③〕

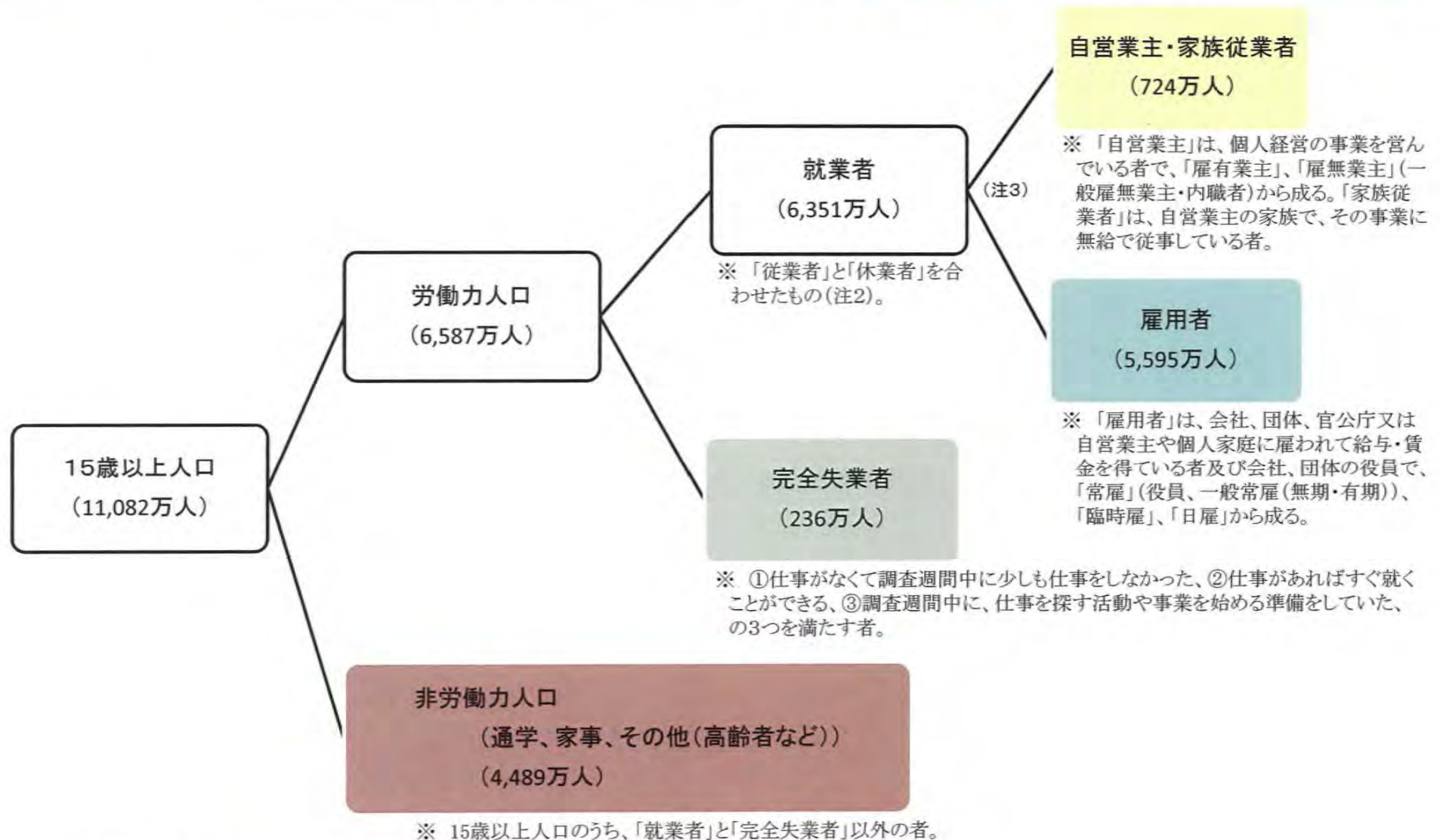
平成 27 年 10 月 23 日 (金)

財 務 省

目 次

1. 働き方・ライフコースの多様化と所得税	1
2. 老後の生活に備えるための自助努力と所得税	19
3. 前回までに出了れた主な意見	40
4. 前回の補足説明	45

1. 働き方・ライフコースの 多様化と所得税



(出所) 総務省統計局「労働力調査」

(注1) 人数は2014年のもの。

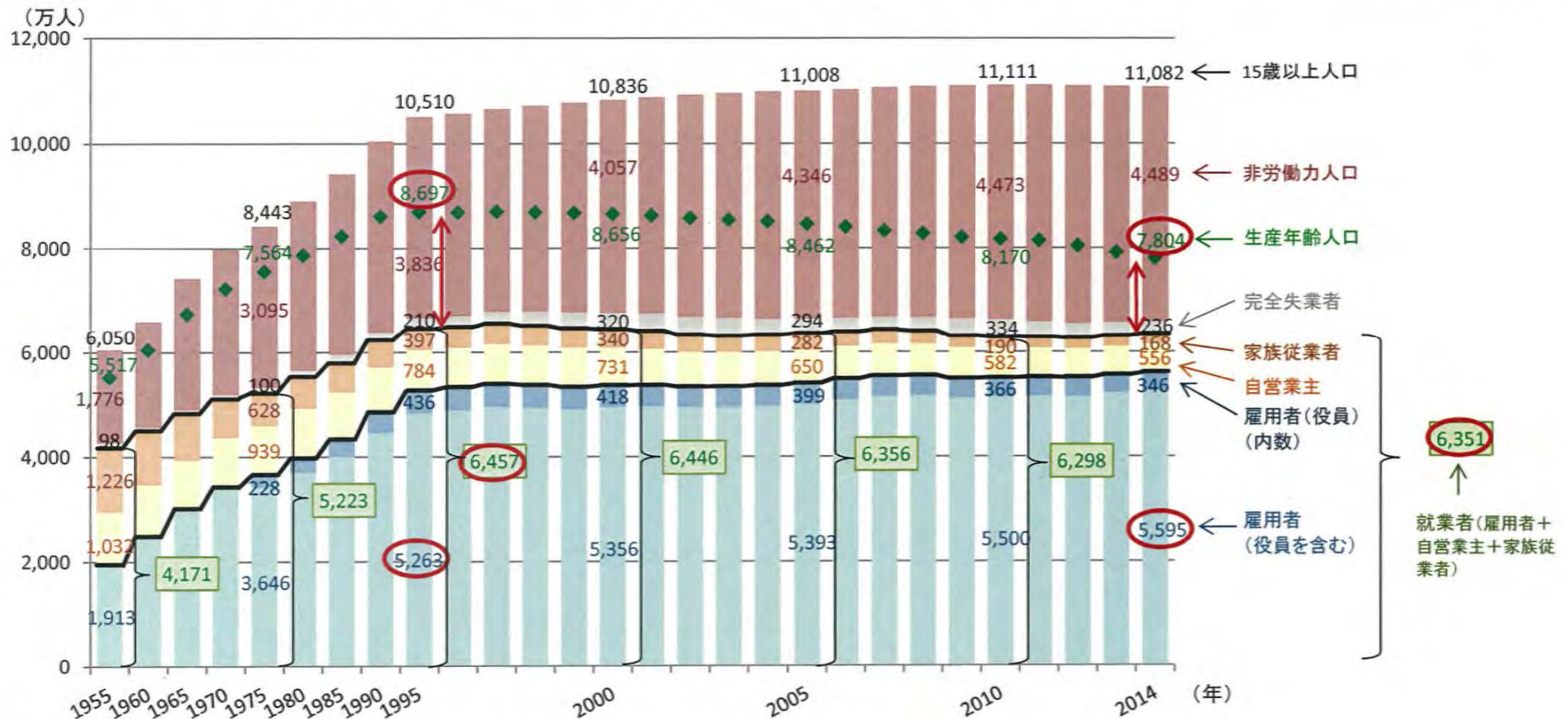
(注2) 「従業者」は、調査週間に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事(以下「仕事」という。)を1時間以上した者(なお、家族従業者は、無給であっても仕事をしたとする)。「休業者」は、仕事を持ちながら、調査週間に少しも仕事をしなかった者のうち、①雇用者で、給与・賃金の支払を受けている者又は受けることになっている者、②自営業主で、自分の経営する事業を持ったままで、その仕事を休み始めてから30日にならない者。

(注3) 就業者の内訳は「従業上の地位」に基づくもの、それ以外は「就業状態」に基づくもの。

15歳以上人口の就業状況等の推移(全体)

9月3日説明資料

- 1990年代以降、生産年齢人口が減少する中、就業者数は減少傾向。ただし、生産年齢人口の減少に比べ、就業者数の減少幅は小さく、女性や高齢者による就労の増加が下支えする状況。
- 就業者の中では、自営業主等の数が減少する一方、雇用者数は1990年代以降も増加傾向。



(出所) 総務省統計局「労働力調査(基本集計)」、「国勢調査」

(注1) 「自営業主等」は、自営業主と家族従業者。

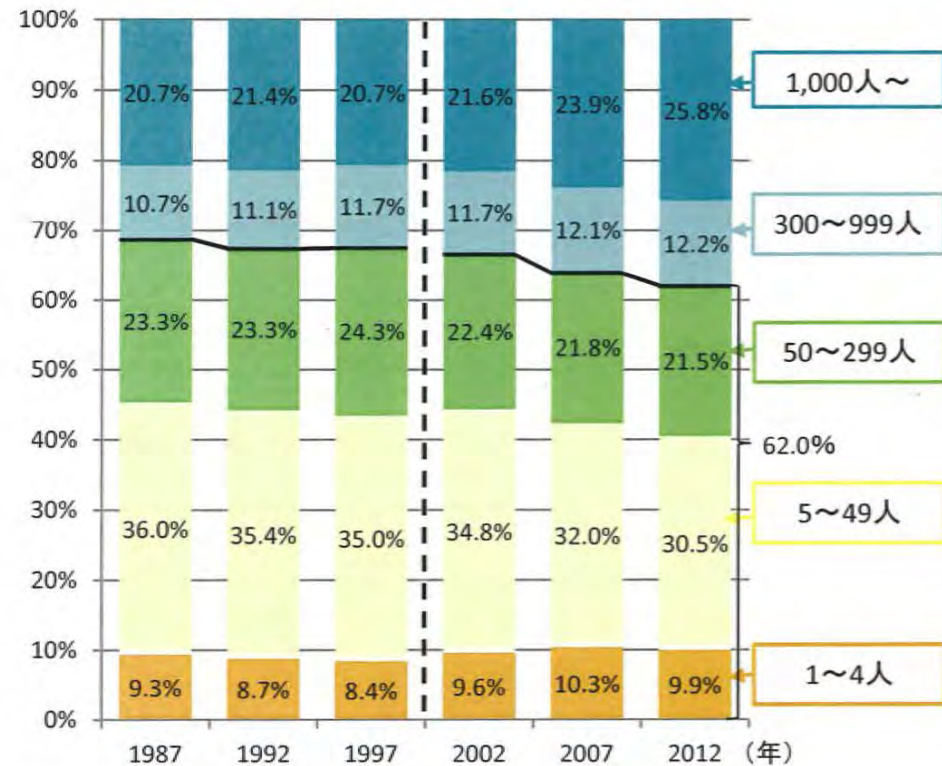
(注2) 1955年から1975年、2005年から2010年の数値については、時系列接続数値を使用。2011年の数値については、補完推計値を使用。ただし、これらの年の「雇用者(役員)」については、各年の報告書等の数値を使用。1970年以前については、雇用者の内数がない。

従業者規模別の構成割合の推移

9月3日説明資料

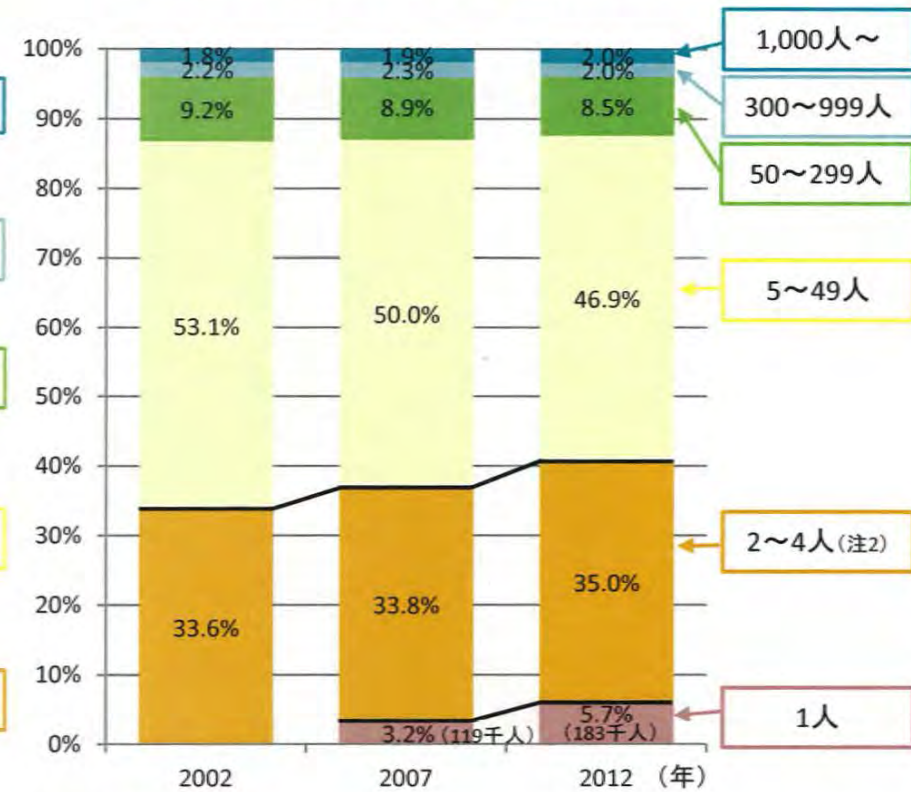
- 従業者規模が300人以上の企業に勤める雇用者（非正規雇用を含む）の割合が増加しているが、従業者規模が299人以下の中小の企業に勤める雇用者は6割強と、引き続き高い割合となっている。
- 役員については、近年、従業者が「1人」や「2～4人」の小規模企業の役員を務める者の割合が増加している。

従業者規模別の構成割合の推移（雇用者）



雇用者数
(万人) 4,102 4,710 4,921 4,298 4,509 4,365

従業者規模別の構成割合の推移（役員）



役員数
(万人) 366 372 319

（出所）総務省統計局「就業構造基本調査」

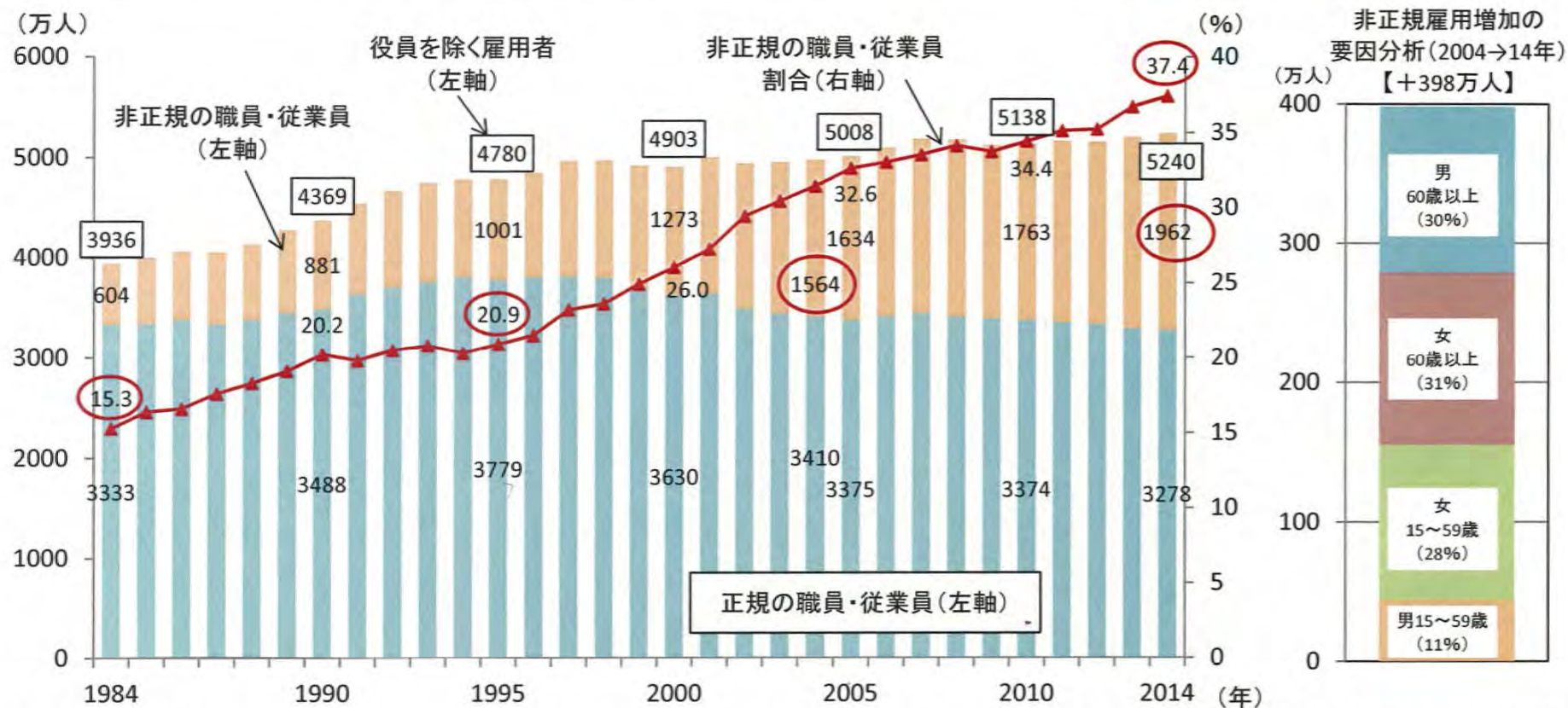
（注1）「官公庁」及び「その他の法人・団体」を除く、会社や個人に雇用される者についての計数。1997年以前は、「その他の法人・団体」に雇用される者を含む。

（注2）2002年については、「1～4人」。

正規・非正規雇用者数の推移

9月3日説明資料

- 雇用者数が増加傾向にある中で、非正規雇用比率は上昇傾向にある。
- 近年の非正規雇用者数の増加のほとんどは、60歳以上の男女と59歳以下の女性であるが、15～59歳の男性でも増加。



（注1）2001年以前は「労働力調査特別調査」、2002年以降は「労働力調査詳細集計」により作成。なお、両者は、調査方法、調査月などが相違することから、時系列比較には注意を要する。「労働力調査特別調査」は各年2月の調査結果であり、「労働力調査詳細集計」は年平均値である。非正規雇用増加の要因分析は塩崎臨時議員提出資料「賃金・雇用情勢について」（平成27年4月16日経済財政諮問会議）より作成。

（注2）労働力調査では、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となった。ここに掲載した、2011年の数値は補完的に推計した値である。

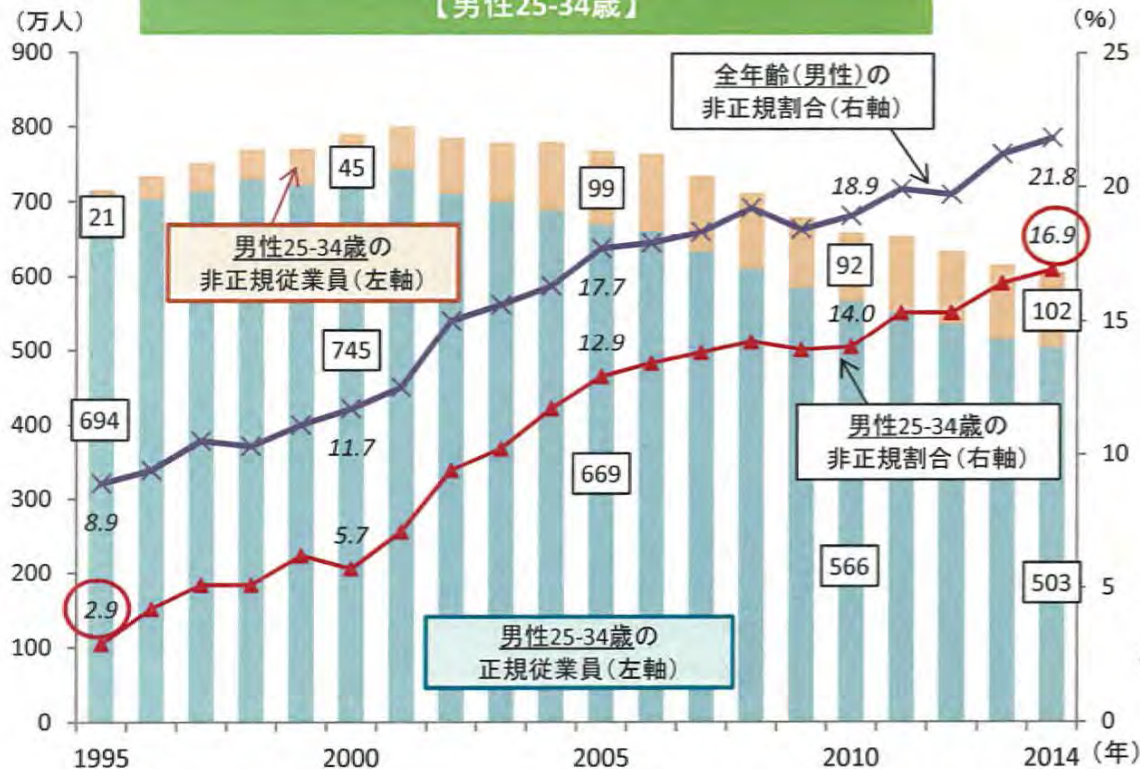
（注3）「非正規の職員・従業員」について、2008年以前の数値は「パート・アルバイト」、「労働者派遣事業所の派遣社員」、「契約社員・嘱託」及び「その他」の合計、2009年以降は、新たにこの項目を設けて集計した数値を掲載している。

「雇用者」のうち正規・非正規雇用者数の推移(若年男性)

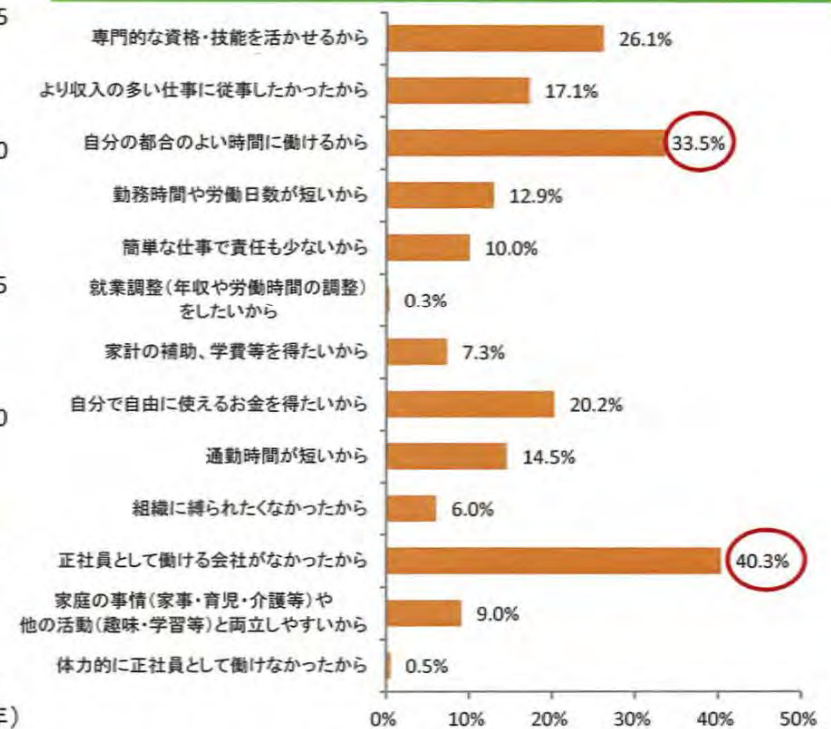
9月3日説明資料

- 若年男性の人口減もあり、雇用者数は2001年をピークに減少傾向。その中で、非正規従業員の割合が上昇傾向。
- 非正規雇用者を選んだ理由は、「正社員として働ける会社がなかった」が最も多く、次に、「自分の都合の良い時間に働ける」が多い。

「雇用者」のうち正規・非正規雇用者数の推移
【男性25-34歳】



非正規雇用者としての働き方を選んだ理由(2010年)
【男性25-34歳】



(注1) 2001年以前は「労働力調査特別調査」、2002年以降は「労働力調査詳細集計」により作成。なお、両者は、調査方法、調査月などが相違することから、時系列比較には注意を要する。「労働力調査特別調査」は各年2月の調査結果であり、「労働力調査詳細集計」は年平均値である。

(注2) 労働力調査では、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となった。ここに掲載した、2011年の数値は補完的に推計した値である。

(注3) 「非正規の職員・従業員」について、2008年以前の数値は「パート・アルバイト」、「労働者派遣事業所の派遣社員」、「契約社員・嘱託」及び「その他」の合計、2009年以降は、新たにこの項目を設けて集計した数値を掲載している。

(出所) 厚生労働省「非正規雇用の現状」(平成24年9月)

(原資料) 厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」(2010)

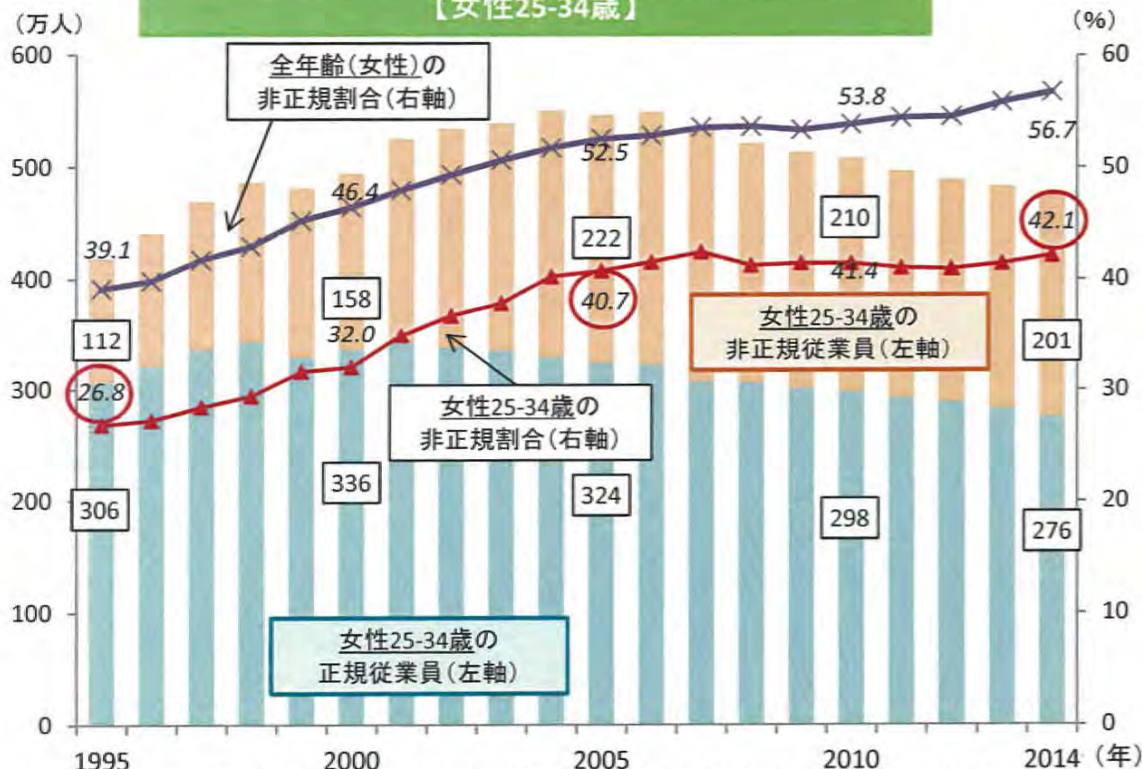
(注) 3つまでの複数回答。非正規雇用の労働者:「契約社員」「嘱託社員」「出向社員」「派遣労働者」「臨時的雇用者」「パートタイム労働者」「その他」を含む。

「雇用者」のうち正規・非正規雇用者数の推移(若年女性)

9月3日説明資料

- 若年女性の人口減もあり、雇用者数は2004年をピークに減少傾向。なお、非正規従業員の割合は、2000年代半ば以降、概ね横ばいで推移。
- 非正規雇用者を選んだ理由は、「自分の都合の良い時間に働ける」が最も多く、「家庭の事情や他の活動と両立しやすい」、「正社員として働ける会社がなかった」が続いている。

「雇用者」のうち正規・非正規雇用者数の推移
【女性25-34歳】

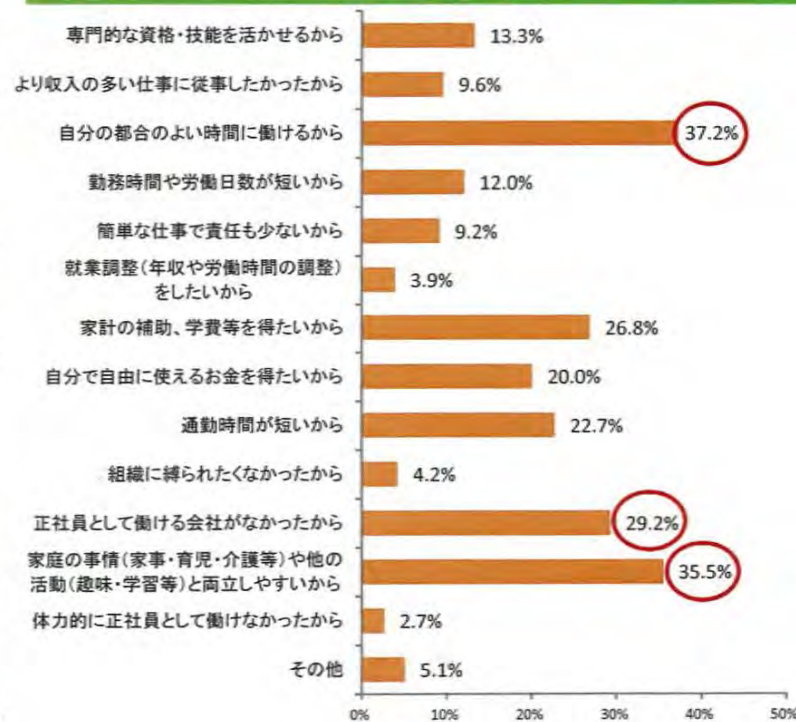


(注1) 2001年以前は「労働力調査特別調査」、2002年以降は「労働力調査詳細集計」により作成。なお、両者は、調査方法、調査月などが相違することから、時系列比較には注意を要する。「労働力調査特別調査」は各年2月の調査結果であり、「労働力調査詳細集計」は年平均値である。

(注2) 労働力調査では、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時的に困難となった。ここに掲載した、2011年の数値は補完的に推計した値である。

(注3) 「非正規の職員・従業員」について、2008年以前の数値は「パート・アルバイト」、「労働者派遣事業所の派遣社員」、「契約社員・嘱託」及び「その他」の合計、2009年以降は、新たにこの項目を設けて集計した数値を掲載している。

非正規雇用者としての働き方を選んだ理由(2010年)
【女性25-34歳】



(出所) 厚生労働省「非正規雇用の現状」(平成24年9月)

(原資料) 厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」(2010)

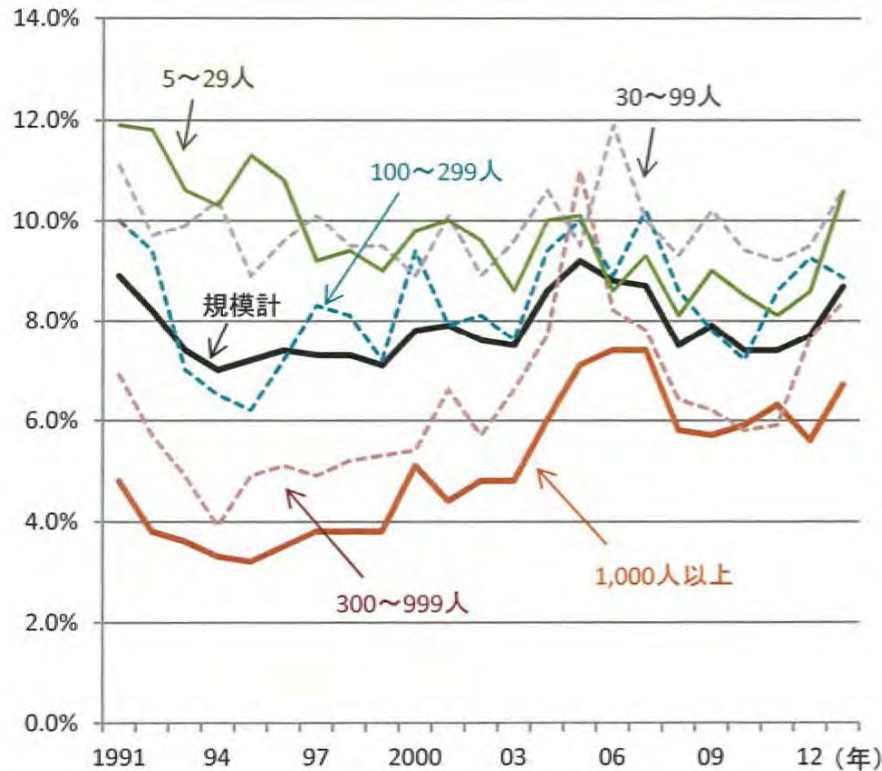
(注) 3つまでの複数回答。非正規雇用の労働者:「契約社員」「嘱託社員」「出向社員」「派遣労働者」「随時的雇用者」「パートタイム労働者」「その他」を含む。

転職入職率と勤続年数別分布の推移

9月3日説明資料

- 一般労働者の転職の動向を示す「転職入職率」は、5～29人規模の企業では長期的に低下傾向にあるものの、中小企業は総じて高い水準で推移。一方、1,000人以上の大企業においては、「転職入職率」が長期的に高まっている。
- 一般労働者の勤続年数は、男女25～54歳において、「10年以上」の割合が低下してきている。

一般労働者の企業規模別転職入職率の推移

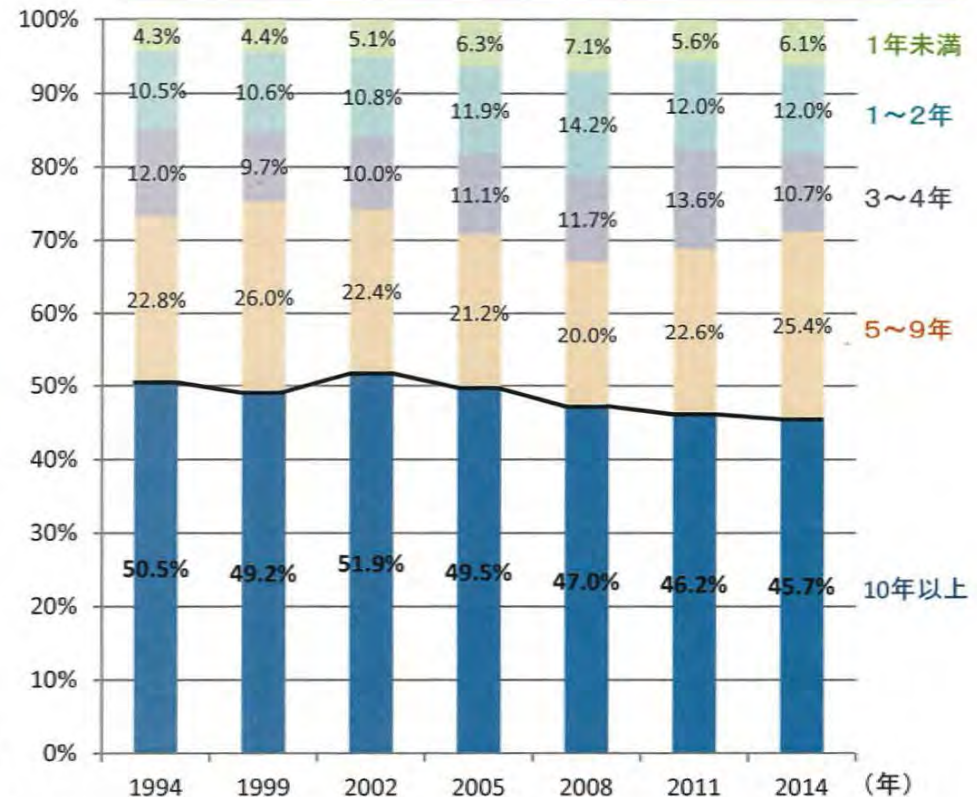


(出所)厚生労働省「雇用動向調査」

(注)一般労働者の転職入職率=(一般労働者の転職入職者/1月1日現在の一般労働者数)×100。
 転職入職者とは、入職者(調査対象期間中に事業所が新たに採用した者をいい、他企業からの出向者・出向復帰者を含み、同一企業内の他事業所からの転入者を除く。)のうち、入職前1年間に就業経験のある者のことをいう。ただし、「内職」や1か月未満の就業は含まない。

(参考)一般労働者とは、常用労働者のうち「パートタイム労働者」又は「短時間労働者」(「1日の所定労働時間がその事業所の一般の労働者より短い者」又は「その事業所の一般の労働者より1週の所定労働日数が少ない者」)以外の者をいう。

一般労働者の勤続年数別分布の推移(男女25～54歳)



(出所)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(注)「民営+公営」のもの。